

黄城高

Ojo News Letter Vol. 47

CONTENTS

特集ようこそ先輩!!	1
会長および校長挨拶	5
合格だ！優勝だ！	6
各支部総会報告	8
卒業50周年を祝う	10
後輩からの一言	11
会員寄付金の寄付者一覧	12
トピックス、お知らせ	13
黄城会総会を終えて	14
役員一覧、物故者、一般寄付金	15
事務局通信	16

発行▶平成29年7月1日
 発行所▶黄城会
 発行人▶岩松 要輔
 印刷▶株式会社音成印刷

特集 ようこそ先輩!! 「私なりの生き方、暮らし方」

大坪 洋二氏

私なりの
暮らし方、
大坪洋二様

皆さん、おはようございます。本校の創立記念行事として先週は天山登山を実施いたしました。今日は、創立記念行事の第2弾ということで、先輩による講演会をこれから実施いたします。この先輩による講演会というのは、毎年各界でご活躍の先輩方に、その先輩の生き様を伝えてもらってそれに学ぶということを目的として実施しました。今日はその講師として、大坪洋二氏をお招きしております。牛津町にお住まいで、本校の第24回の卒業生です。昭和47年3月に、小城高校を卒業されてその後、中央大学の法学部に進学をされております。その後いくつかの会社を経て、現在株式会社トヨタレンタリース佐賀に嘱託としてお勤めになっておられます。今日は、前の方にも掲示をしておりますが、「私なりの生き方、暮らし方」という演題でご講演をいただきます。今日のお話が皆さんのこれからの生きる一つの標となることを期待します。それでは、先生よろしくお願いたします。

特集

黄城人(高校24回卒) 大坪 洋二氏「私なりの生き方、暮らし方」

おはようございます。先ほど校長先生からご紹介にあずかりました、小城高校24回卒の大坪でございます。いきさつ

まず、ここで話をすることになったいきさつですが、私たち24回生の

同窓会の実行委員長から今年の2月初めに相談がありました。ただ高校の創立記念日には、毎回社会的にも実績を残された諸先輩方が話をされているんですよ。だからそれはやはり皆さんの興味、好奇心を刺激する

お話だと思っんですね。それに引き換え私は、一介のサラリーマンです。失敗ばかりの人生という感じで大した実績がないんですよ。だから、果たして皆さんの好奇心や興味に応える話ができるだろうか随分考えま

した。ただ、自分に都合がいい考え方をすれば、世の中どちらかと言えば、普通のサラリーマンである私みたいな生き方をしてきた方が多いんじゃないかと思いました(私の場合、ちょっと極端過ぎるかも)。そういう人間がここで話をするとすることは、まずないことだと思います。その点からみれば、私みたいな人間がどうやって生きてきたかをここで話をすることは、ちょっとくらいは参考になる部分があるのかなと考えます。だから立派な話というか、成功体験の話はできないんですけど、私はこうやって生きて来ました、そしてあえていうなら私の実績とは63年間生きてきて、今壇上に立って皆さんに話をすること、これこそが自分の実績だということで皆さんに聞いて頂きたいと思います。一生懸命お話をしまいたいと思いますので、宜しくお願いします。

高校入学

当時は1年前から学区制ができて、普通高校に関しては小城郡多久市の方は小城高校にしか行けなかったのかな。工業高校や商業高校についてはどこにも行けます。そういうことで、小城高校に入学しました。それでも、小城高校黄城といえは佐賀西高校の栄城という具合に双壁ですよ。歴史のある学校です。

私は牛津出身ですから、牛津の人間とか、芦刈の人間としか交わっていないものですからそれ以外は分からない。小城の中学校の生徒であり、大和の方であり、多久の中学校から来られると皆さんが賢く見えるんですよね。ここで果たしてやっていけるものかどうか、それを考えると不安でした。

クラスは全部で10クラス

それで、入ったらもちろん特課があるし、早朝小テストがあるし、びっくりしました。こんなに小城高校に

来たら勉強せないかんのかと。当時は、学校の校舎というのはまだまだ高等女学校時代の校舎がありまして、私たちは全部で10クラスありまして、470~80名が入学したんですけど。3クラスが木造校舎で一番北の方にありました。そこで、3クラスは1年間過ごしたんですね。2年生からは鉄筋の校舎になり、その後的高校時代を過ごしています。まあ、特課、特課、試験があって当然2年生になるとグレードコースとか成績順に振り分けられます。グレードコースは男2クラス、女1クラスでした。私もグレードコースを希望したのですが、先生から成績を見せられてましてですね「お前の成績じゃ無理だ。」ということで、私は7クラスあるBコースに振り分けられたんです。当時のクラスは2年生までは男女別々ですが、3年生になるとクラスが男女一緒になるんですね。

大らかな日々

天山登山あり、冬場のマラソンあり、伸び伸びしていました。試験勉強があるんですけど、それはそれとして、随分と大らかな過ごし方をしたんじゃないかと思います。卒業アルバムを見てもですね、やはり昔の写真というのはもうセピア色ですよ。アルバムの中には生き生きとした笑顔があります。でもねその笑顔の裏には不安も隠されています。勿論悩みもあったんでしょうけどね。恋愛もしたでしょう。そういった中で高校時代を過ごしてきて、本当に楽しい思い出の一時期でした。

浪人時代

のほほんとした感じで小城高校時代を過ごしたわけですから、当然大学は難しい。ただ、周りが受

けると、やっぱり大学は受けんと格好つかんだろうということで大学は受けたんですよ。中央大学の法学部だけを受けました。何でそこに受験しないといけないのか、それは政治家というフレーズが、漠然と頭の中にあったからかな。当然おちました。落ちたもんですからしょうがないから、小城高校に行きまして、進路担当の先生に「大学を落ちましたから就職を世話して下さい」という話をしたんですよ。そしたら、怒られましたね。「何を考えているんだ。今からじゃとても間に合うわけがない。ちゃんと就職をする準備が必要なんだ。その準備もちゃんとやらないで落ちたから就職を世話して下さいというのは世間をなめてる。」ということで、随分と怒られました。そういうことで、私としては親に頼んで浪人をさせてもらったんですけど、これもダメですね。予備校時代は遊んでばかりです。パチンコはやるわ、サッカーはやるわ、何でもありで。だから親が年に2度家族面談があるんですけど、親としてはビックリするわけですよ。予備校にいないんですよ。だから、そこで親にまた怒られる。ですから、やりたい放題やってきた10代だったんですね。そんな具合で随分親を泣かせました。

親を泣かせたといいますと、私のところは片親なんですよ。小学校に上がって親父が亡くなりまして、



母が一人で私と弟を育ててくれた。だから、親としてはやはりふた親がいるところにまけないようにと、望むことはやらせてあげようと随分無理して金をつぎ込んできたんですけれどね。当の本人はこの体たらくです。ですから、いつも嘆いておりました。これだけ親としてよそ様に負けなように頑張っているのにことごとく無駄にしているということで、随分おこられましたけれど、修まりませんでした。こんな子でも親は親です。それに対して私はとんでもない奴です。

その後すったもんだして、結果二浪してなんとか中大に行くことになりました。

大学入学後の誘惑

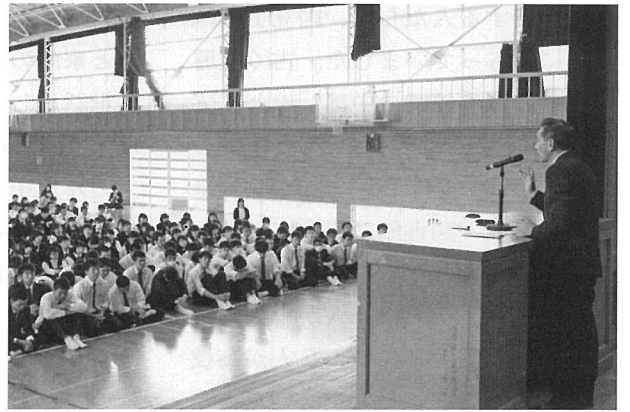
大学にはいったものの、やりたいことを感情に任せて、趣くままに過ごしてきたんですね。ですから、大学に何をしに行くかという、やはり田舎から出てくると東京は面白いんですよ。びっくりすることばかり。珍しい。だからいろんなことにはまる。私は踊り子さんにはまりました。東京というのは、いろんな誘惑が多いですよ。結構学生割引料金があるんですよ。だから、学生割引で安く見れるんです。今からもう40年以上も前の話ですからね。それで、踊り子さんに惚れるわけですよ。学校は行ってたんですけど、出るだけ。後は友達とつるんで遊ぶとか、踊り子さんを見るときは時間を過ごす。家には全然わかりません。そういうことをやっているとは知らない。その時はその踊り子さんに惚れて、一緒について行こうかなと思いました。しかし、それは諭されました。その踊り子さんから。僕よりも2つか3つ年上の方でしたね。僕がしょっちゅうくる。それも一番前の席で、興奮状態にいるもんですから、楽屋に呼ばれたんです。嬉しかったですね。「ちょっと来てごらん」と

いうことでしたから。

で、「毎日来ているけれど、何処の出身なの？学生でしょ？」と言われるんです。「はい、九州の佐賀です。」というとその後説教されたんです。どんな風にかという、
「九州から来た学生さんなんだ。学費とかはどうしているの？」「奨学金をもらっているんだけど、親が仕送りしています」というと、殴られましたよ。コツンと。「しっかりしろ！親がどういう思いでお前を大学にやっているんだ。しっかり勉強をしろよ。この金はこのように来るために稼いだお金じゃないんだよ。お前が一生懸命勉強をして大学を出ていいところに就職してくれるんだらうという形で親が汗水垂らして稼いだお金なんだ。それをこういうところで使うとはどういう了見しているんだ」ということをこんこんといわれました。本当にきれいな方でしたね。私はどうしてこのような仕事をしなければいけなかったのかというのをこの方を見に来るたびに思っていましたけれど、やはりそれなりの事情があるんですよ。そんなことは一言も言われなかったんですけどね。だから、私を怒る時は涙ぐんでしかるんです。しっかりしろと。それで、2週間ほどたった頃にあの方たちは、地方にでられるわけです。その時に、また最後にその方に会いにいて握手をして「しっかり勉強しなさい」と言われて別れたんですけどね。今なら私より2つか3つ上ですから、もう66歳くらいになられているんじゃないですかね。

大学の友人たち

私の大学時代の友人というのはどういうわけか、年齢がみんな上の方



で、5人友人がいたんですけど、5人とも年齢が1つ上なんです。千葉の松戸の人、新潟の人、茨城の人、埼玉の人そして熊本の人。ユニークな人達でした。東大間違いなしと言われて3度不合格となり、受験シーズンになると夢でうなされるという茨城の友人。一度彼の下宿に泊りにいったことがあるんですけど、やはり東大に行くためにはこれだけの勉強をせないかんのかということを感じました。彼の浪人時代の参考書や教科書があるんですが、もうバラバラ、赤線ビッシリ。これ以上勉強できないくらい勉強したんだと。新潟の友人は明大に通っていたのを中退して中央大学にきた人でした。競馬好きで、競馬の見方を教えられました。ヤンキー上がりの千葉の友人、この人とが一番仲がよかったですね。競馬の大家で、毎夏、競馬が涼を求めて地方遠征するのに同行していくんですね。少年自衛隊（当時）に入隊し、その後どうしても大学に行きたいとのことで、除隊して中大法学部入学した熊本の友人。高校卒業後2年ほど遊びまくっていて、一念発起、勉強し中大に入った埼玉の友人。私にとっては、興味のわく友人たちでした。

上野図書館の常連

一番親しい千葉の友人はえらい難しい話をしていました。こんな千葉の友人が交わる人たちはどんな人たちだろう、と興味がわきました。

彼が接する人たちは、国立上野図書館に籠もっていました。古く重厚な感じの図書館で、中はしんとして勉強をしている人が散見できました。彼が親しくしている人が7人ほどいて、度々図書館に通っては彼らと話ができました。話をしてわかってきたのは、7人中4人が東大卒、1名が東京美大卒、他の2人が高校卒だということ。美大を除いた人たちは1度は就職しているんですが、仕事よりも究めたいことがあるということなのか、自己研さんを続けているというんです。妻帯者もおり、妻が働き不足すれば自分もバイトすると。でも、すごい人たちでしたね。英語以外にラテン語、ドイツ語ができる。哲学、法律、社会科学の本では自然科学まで、すごい読書量と思索。何で働かないんだろう？何で伝ええないんだろう？不思議でたまらなかつたですね。自己満足か？残念ながら私には理解できないということです。ただいろんな人間が東京にはいるんだな、と驚嘆した次第でした。

佐賀での日々

1年の留年後、佐賀に戻ってきました。大学在学中は就職活動もやっていないし、佐賀に帰ってきて就職しようにも当然就職先なんかないですよ。何度も転職しています。会計事務所、生命保険会社、損害保険会社、食品会社、冠婚葬祭そしてまた食品関係と。この頃の私は結婚して、子供もいました。生活能力もなくて

せにですね。私の就職についても、母と家内の頑張りや信用から周りがお世話をしてくれたと思います。私はずうっと冴えないままでした。

そんな中、ある人の紹介で1999年3月、今から18年前に現在の会社へ勤務させて頂くことになります。子供も中学2年生と小学3年生になり、私ももうすぐ46歳になろうとしていました。まあ、法学部をでていりし経理もできそうだと、ということで使ってみようということだったと思います。もう年も年でしたから、最後にここで踏ん張らんと。いつまでもぱっとしない姿を家族に見せる訳にもいかんとの思いがありました。それから、今日まで18年。だんだんと年をとって来て、ようやく気が付き始めた、わかりはじめてきたということです。

誰かのお役に立つ

随分と馬鹿をやってきました。佐賀に帰ってからもいろいろと迷惑をかけてきました。55歳を過ぎたあたりから、自分と周りが見えてきたんです。遠回りしたようでも、現在の自分に至るまでは、ここまでの時間が必要でした。生きていてよかったと思います。今となってみれば、気が付くことが多々ある。そんな中で人間が一番輝くとき、それは誰かのために何かをする時だと思います。これが一番尊い。誰かのお役に立つということ、それが一番大事なことで気付いたんです。本当に時間がかかりました。気付くまでの時間、気付く内容は、個々によって違います。10代で気付く人もいます。20代いや30代で気付く人もいます。定年後、私は会社に毎日7時に出社し、トイレ掃除と会社周辺の掃除を行います。それは、私が会社にお世話になったからです。今の会社に勤続

できたからこそ、この心境になれました。私が会社に感謝を示すとすれば、この方法しか思いつきませんでした。

繰返しますが、私が64年近く生きてきてしみじみと思うことは、人間が一番輝いている時はいつどんな時か、それは誰かの為、人のために喜んでもらう事をする時だということです。これこそ、最も尊い。相手からのお返しを期待したら駄目です。そのような行動は相手が見抜きます。もう一度いいます。人のために何かをする、私はこれが自分を磨き高めることだと思います。

最後に

人はそれぞれ目的があり使命も違う。人生においてそれを気付く時点もちがいます。だから他と比較して卑下したり、落ち込んだりする必要はないのです。人生に無駄はないですよ。みんな意味がある。後で分かる時がくる。生きていくことです。つまり、自分が生きている意味、やることそれをこれなんだと実感するには、個々に要する時間や経験が違うということです。だから生きていく、何があっても生きていく。そうすることで、いつか訪れます「ああ、そうなんだ、そういうことだったのか」と。もう時間ですね。

以上で私のお話を終わらせて頂きます。長時間ご傾聴頂きありがとうございました。

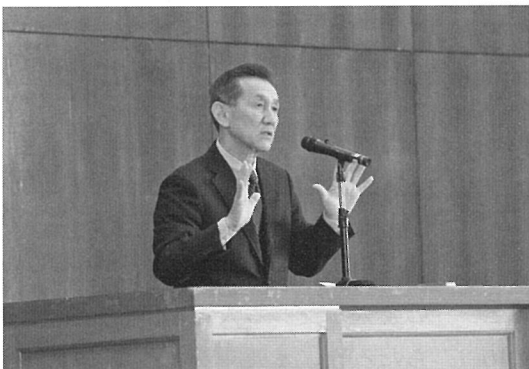
本日はお話をさせて頂いたこと、光栄に思います。本当にありがとうございました。

Profile

大坪 洋二 (63歳)

小城高等学校 昭和47年卒業
(高校24回卒)

株式会社トヨタレンタリース佐賀勤務(嘱託)
牛津町在住
中央大学法学部卒業





黄城の故郷から

黄城会会長
岩松 要輔

平成29年度を迎え、全国各地の会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと拝察いたします。ここに、同窓会会報「黄城」第47号が完成しましたのでお送りいたします。

母校に南接する小城公園は、初夏の候となり樟の若葉とツツジの花に彩られています。

常日頃、黄城会の活動にはご支援ご協力をいただき、感謝いたしております。黄城会は、明治38年8月に「会員相互の連絡を図り親睦を厚くし兼て後進を奨励する」を目的に掲げ旧制小城中学校同窓会として発足し、その後百十余年にわたり活動が続けられてきています。

昨年度は総会のあと、会報の発行、ホームページの刷新、黄城教育会館の補修事業などに取り組んで参りました。支部総会へは、藤井伸幸小城高校長、吉山教頭とともに七田副会長、川副副会長、井手副会長、外尾事務局長と手分けして出席させていただき、各支部の活動の様子を見聞させてもらいました。各支部の母校に対する熱い思いを知ることができました。

今年度の黄城会総会は、恒例の5月3日に母校の体育館において、「黄城Fes 輝く118年の軌跡 そして未来へ…」をスローガンに淵上史貴実行委員長を中心として新高44回卒業の皆様のご尽力で楽しく素晴らしい会合となりました。総会行事のあと第二部の黄城の集いで、高校19回卒

業の皆さんの卒業五十周年祝賀が行われましたが、ご同慶にたえません。第三部のアトラクションでは、「小城高校吹奏楽・合唱部ミニコンサート」、「メガモッツお笑いライブショー」が行われ、楽しい時間となりました。恒例の饅頭会は昨年からゆめぷらつと小城で高校45回卒業の皆さんの接待で大変盛況でした。

母校では、藤井伸幸校長ご退職のあと永田彰浩校長（高校30回卒業）が着任され、母校発展のため鋭意取り組まれております。

最後になりましたが、母校・黄城会の発展と同窓諸兄弟のご健康とご多幸を祈念申し上げ、会報のあいさつといたします。

(平成29年5月15日)



母校だより — 「多様性」で創る未来像 —

校長
永田 彰浩

教育改革期を迎え、高大接続改革が待ったなしで進められている。また、新学習指導の作成に向け、育成を目指す資質・能力の三つの柱である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」を軸に、再整理が進んでいる。とりわけ、「多様」「主体」という言葉は、次期学習指導要領の中で頻出の言葉として注目すべきだ。変化の激しい現代社会では、一人ひとりが「主体的に学び、その学びを社会や人生に活かしながら、「多様」な生き方に積極的にチャレンジしたいものである。

世の中はグローバル化が進展し、多様性で満ち溢れている。例えば、企業では「働き方改革」が進み、多様な働き方が取り入れられている。世界企業を目指す楽天やユニクロを

展開するファーストリテイリングでは、いち早く「英語公用語化」を取り入れた。ITベンチャー企業のモンスター・ラボは、11カ国のメンバーが集う多国籍なオフィスを持つ。また、大手企業のカルビーは、「多様性なくして成長なし」のスローガンのもと、「在宅勤務制度」、変形労働時間制である「フレックスタイム制度」、働く場所も日数も制限しない「モバイルワーク」、社員の座席を定めない「フリーアドレス」等を次々に採用している。そして、多様性を推進するこれらの企業の共通点は、多様性を活かしながらイノベーションを実現しているということである。

これからの社会では、なぜ「多様性」が求められるのか。中教審の専門委員を務める京都大学総合博物館の塩瀬隆之准教授は、自分を変える手段として多様性を積極的に取り入れること、そのために自分と異なる人とふれあい、自分を相対化する体

験を積むことの必要性を説く。「大事なものは、多様性の中で自分を相対化し自分を常に見つめ直すことであり、その意味では、異質の中に身を置いてみることは有効な方法はない。違和感があっても当然、その違和感に揺り動かされて何かを感じるところが自己変革のスタートである。むしろ自分とは異なる差異を楽しめるかどうかで、その人の人生は大きく左右される。」と。

それでは、多様性に溢れた社会に適応できる力を育むために、教育現場でできることは何か。まずは、「主体的、対話的で深い学び」による授業改革である。例えば、企業やNPO法人などの外部の人材活用は、生徒の視野を広げてくれるであろう。そこに、豊富な人財を抱える黄城会の組織力をもっと有効に活用できればありがたい。

柔道部 1位、2位独占 高校総体県大会

本年度の小城高も、文武両道、勉学に、スポーツに、一生懸命はげんだ。

国立大学55人、公立大学33人などに進学した。

また、スポーツでは柔道部が県高校総体個人で男女とも1位2位を独占したほか、女子団体が2位に入った。また、バドミントン女子団体も2位など躍進した。文系では、書道部が、各大会で特選に入ったほか合唱部も九州合唱コンクール県大会金賞、放送部では全国高校放送コンテスト県大会で最優秀賞を獲得した。

後輩たちの努力の結果をお知らせする。

合格状況 ()内は過年度卒

【国立大学】 島根大学1 / 山口大学(1) / 九州大学1 / 九州工業大学1 / 福岡教育大学2 / 佐賀大学33 (2) / 長崎大学3 (3) / 熊本大学7 (1) / 大分大学3 / 宮崎大学1 / 鹿児島大学2 / 鹿屋体育大学1

【公立大学】 愛知県立大学1 / 島根県立大学3 / 尾道市立大学1 / 山口県立大学1 / 山口東京理科大学1 / 下関市立大学6 / 北九州市立大学3 / 福岡県立大学3 / 長崎県立大学6 (1) / 熊本県立大学2 / 宮崎公立大学4 / 名桜大学2

【私立大学】 国際医療福祉大学2 / 東海大学4 / 日本大学1 / 近畿大学7 / 立命館大学1 (1) / 広島修道大学2 / 九州産業大学12 / 久留米大学52 / 西南学院大学11 (2) / 中村学園大学9 / 福岡大学62 (7) / 福岡工業大学7 (1) / 福岡女学院大学6 / 筑紫女学園大学7 / 西九州大学9 / 長崎国際大学3 / その他の大学34

【短期大学】 国公立短期大学2 / 私立短期大学14

【その他】 高等看護学校15 / 医療系専門学校24 その他専門学校13 / 就職5

部活動の成績

【体育部】

1. 柔道部

○第54回佐賀県高等学校総合体育大会柔道競技 / 第1位 相良宗治・井手智美・大石野乃 / 第2位 鶴本健太・夏秋葵・中島咲 / 女子団体 第2位

○第68回佐賀県高等学校新人柔道大会 / 第1位 鶴本健太・大石野乃

○第39回佐賀県高等学校選手権柔道大会 / 第1位 鶴本健太・寺田圭佐 / 男子団体 第3位 / 第1位 大石

野乃・中島咲 / 女子団体 第1位

2. ソフトテニス

○佐賀県高校生夏季ソフトテニス大会 / 第3位 高塚涼介・横尾凌大

○平成28年度佐城地区高等学校ソフトテニス秋季大会 / 団体 第1位

○佐賀県高等学校ソフトテニス新人競技大会 / 個人 第2位 高塚涼介・横尾凌大

○平成28年度佐賀県高等学校新人体育大会ソフトテニス競技大会 / 男子団体戦 第2位 大家雅也・高見健司・横尾凌大・高塚涼介・田中謙伍・川崎流弥・井手優汰・川添大聖

○平成28年度佐城地区高等学校ソフトテニス春季大会 / 女子個人 第1位 藤川ありさ・山下優衣

3. バドミントン

○第28回佐賀県高等学校生徒バドミントン競技春季大会 / 第3位 平山楓・村岡彩香

○第54回佐賀県高等学校総合体育大会バドミントン競技 / 女子団体 第2位

4. 空手道

○第3回日本空手協会佐賀県本部小・中学生空手道選手権大会 / 高校男子 形 優勝 中野功輝 / 高校男子 組手 準優勝 中野功輝 / 高校男子 組手 3位 児玉浩章

5. テニス

○第44回佐賀県高等学校学年別テニス大会 / 優勝(1年男子シングルス) 下平恭輔

6. 野球

○第32回唐津市長旗争奪高等学校野球大会 / 準優勝

7. 弓道

○第54回佐賀県高等学校総合体育大会弓道競技 / 女子個人 第3位 立川友菜

○紫難旗出場高等学校夏季弓道大会 準優勝(近的の部 男子団体) 坂井康佑・長井悠斗・陣内聡・川原竜

一郎

○平成28年度佐賀県高等学校弓道新人大会 / 男子個人 優勝 村岡璃久人

○平成28年度佐賀県高等学校弓道2年生大会 / 男子個人 優勝 陣内聡 / 男子団体 第2位 坂井康佑・長井悠斗・陣内聡 / 女子団体 第3位 仲村茜音・立川友菜・川原笑里

8. アーチェリー

○第54回佐賀県高等学校総合体育大会アーチェリー女子 / 女子個人 第3位 田中郁実

○平成28年度佐賀県高等学校新人アーチェリー競技大会 / 女子個人 第2位 田中郁実

○第34回九州高等学校アーチェリー新人大会 / 女子個人 第3位 田中郁実

9. 陸上競技

○佐賀県陸上競技記録会 / 女子三段跳 第3位 月岡麗

○佐賀県陸上競技選手権大会 / 男子400m 第6位 田中秀人 / 女子走幅跳 第4位 月岡麗 / 女子三段跳 第4位 月岡麗

○第54回佐賀県高等学校総合体育大会陸上競技 / 男子400m 第4位 田中秀人 / 女子三段跳 第2位 月



放送部

岡麗／女子三段跳 第5位 小副川理子
 ○平成28年度佐賀県高等学校新人陸上競技大会／男子4×100mR 第4位 飯盛徳興・駒井快成・岡讓二・南龍治／女子走幅跳 第3位 月岡麗／女子三段跳 第4位 月岡麗／女子三段跳 第5位 小副川理子
 ○第20回佐賀県高等学校陸上競技選手権大会／男子4×100mR 第6位 岡讓二・南龍治・飯盛徳興・横尾大樹／女子走幅跳 第2位 月岡麗／女子三段跳 第2位 月岡麗／女子三段跳 第3位 小副川理子

【文化部】

1. 書道部

○梧竹・蒼海顕彰第24回佐賀県書道展／優秀賞 納富麻由美
 ○第41回書作家協会展／書作家協会賞 明石智佳／特選 小森早恵・徳永留菜
 ○第44回七夕書道展／梧竹顕彰会賞 古川春南／特選 明石智佳・納富麻由美
 ○第68回佐賀県高等学校席書大会／特選（臨書の部） 新垣萌音・森美月
 ○第27回中林梧竹翁顕彰席書大会／特選 明石智佳
 ○第45回全国高校書道展／特選 明石智佳・早田明日香・小池里佳
 ○第15回岐阜女子大学全国書道展／準大賞（2席） 藤瀬法子・新垣萌音／大学賞 森美月
 ○第28回佐賀県高等学校総合文化祭書道部門／奨励賞 新垣萌音・森美月
 ○第39回中林梧竹翁顕彰書道展／梧竹顕彰会賞 新垣萌音／J A さが賞 美山景花
 ○第41回佐賀県高等学校臨書展／特選 明石智佳・早田明日香・新垣萌音・森美月・古川春南・江口幸穂・井上春佳・西村蒼・田中郁実・大石野乃
 ○第38回読売学生書展／特選 小森早恵・森美月
 ○第22回全日本高等学校書道コンクール／半紙の部 部門最高賞（木簡賞） 森永彩香／画仙紙の部 部門最高賞（木簡賞） 森永彩香／準部門賞（準漢字仮名交じりの書創作賞） 古川春南／準部門賞（準張遷碑賞） 上野美鈴／準部門賞（準牛橛造像記賞） 古川春南／準部門賞（準九成宮醴泉銘賞） 永松愛美／準部門賞（準九成宮醴泉銘賞） 上野美鈴／準部門賞（枯樹賦賞） 新垣萌音／準部門賞（準祭姪稿賞） 森

美月／準部門賞（準争坐位稿賞）
 江口幸穂／準部門賞（準黄庭堅賞）
 森美月

2. 吹奏楽・合唱

○第57回佐賀県吹奏楽大会／銀賞（Aパート）
 ○第71回九州合唱コンクール佐賀県予選／金賞
 ○第71回九州合唱コンクール／銅賞

3. 美術部

○第69回佐賀県高等学校スケッチ大会／準特選 久我愛実
 ○第38回佐賀県高等学校総合文化祭美術・工芸部門／デザイン部門 特選 石井智貴
 ○第40回九州青年美術公募展／藤田記念賞 石井智貴／審査員特励賞 堤大介
 ○第55回佐賀県高等学校デッサンコンクール／静物の部 準特選 武富佑佳

○平成28年度佐賀県こどもUD作品コンクール／アイデア作品の部 優秀賞 内田早紀

4. 放送部

○第63回NHK杯全国高校放送コンテスト佐賀県大会／アナウンス部門 最優秀賞 大家千佳
 ○第63回NHK杯全国高校放送コンテスト佐賀県大会／朗読部門 最優秀賞 古賀あすか
 ○第40回佐賀県高等学校放送コンテスト／アナウンス部門 優秀 大家千東
 ○第38回九州高校放送コンテスト大分大会／朗読部門 優良賞 古賀あすか
 ○第17回アバンセ杯放送コンクール／アナウンス部門 最優秀賞 大家千東



柔道部



弓道部 全国高等学校選抜弓道大会出場

支部総会報告

平成28年度

関東支部

8月28日 フォーエタニティー 200名
なつかしい顔と新しい顔ぶれが黄城会関東支部の集いに参集いたしました。5000円の会費と銀座の場所柄、私の知る限り最高出席人数だとおもいます。

私も、黄城会の受付などのお手伝いをはじめ50年近くになりますけど、最初の会は50名たらずで女性は私一人だった記憶が残っています。

実家の牛津の父に様子を聞かれて「お三夜さんの集まりみたいでした。」と返事をしたのを覚えています。

2016年の総会は若い幹事さんたちが、今までの古い部分を払拭して新しいシステムで会の運営をして、成功を取めました。まず2000通余の案内状を学年幹事に力を貸して頂き取りやめにし、会場も今まではホテルでいたしておりましたが、銀座の新しいビルの一室で集まり、5000円の会費でおさまりました。

ちまたでは「今頃の若い人は？」という言葉をよく聞きますが、私は個人会の事務局時代から「今の、若い人は素晴らしい」言葉がよく口から出ていました。

若者たちのパワーと、先達者たちの素晴らしい叡智のコラボでますます素晴らしい「黄城会関東支部」が続くことを、楽しみに願っています。

又、黄城会関東支部では「散歩の会」を年2回開催いたしております。やはり幹事の努力の賜物で皇居の桜のお花見・井之頭公園と今年の春は市川の桜と30名の参加者で楽しく開催いたしています。

歩いた後の冷たいビールでお疲れさま会も楽しみです。

黄城会関東支部がますます、素晴らしい運びが続くよう努力いたします。

(関東支部幹事長 高校15回 岸川 昌子)



中京支部

10月22日 名鉄ニューグランドホテル 36名
地元小城、そして小城高校のお話もたくさん頂戴しました。特に藤井校長先生による現在の校舎に至る遍歴については皆さん耳を傾けて真剣に聞いていらっしゃいました。また同じく藤井校長先生の応援歌のご披露は懐かしくもあり、その迫力で圧巻と感動の嵐でした。各支部よりお越し頂いた方々からは、総会開催で少しでも多くの方に参加頂けるように努力をされているお話を伺い、中京支部としましても本当に参考となる内容ばかりでした。

催しとしては、まずは恒例となりました作

品展示。今年も中里さんによるかわいい手作りのステンドグラス。我が中京支部の力武さんからは、なんと自転車一人旅で西本州を一周されたとの事で、写真を用いたその経路図の展示。副支部長川島さんの、一言ですが深みのある詩を画いた絵手紙など今年も素敵な作品ばかりでした。

勝ち抜いた方のテーブル一卓が景品総取りとなるジャンケン大会では大いに盛り上がりました。また音楽ユニット「まねまう」さんのギター弾き語りと様々な内容で楽しい時間を過ごすことが出来ました。

私たち中京支部も会員数の減少とそれに併せて総会参加者数の確保などと難しい問題が山積しています。「中京支部の総会はアットホームで本当にあたたかいね」とたくさんの方にお声を掛けて頂きます。このような良いところは大切にしつつ、支部の在り方や活動内容などの足元から、あるいは支部総会の内容などあらゆる事を今一度見直し、一人でも多くのご参加を頂けるよう、支部長久本をはじめ中京支部一同努力して参りますので引き続きたくさんのご参加を心よりお待ちしております。

(中京支部事務局長 高校40回 堤 淳)



関西支部

11月6日 ホテル大阪ベイタワー 35名
本部から井手真喜子副会長、母校から藤井伸幸校長、また中京支部より久本哲義支部長に来賓としてご出席頂きました。

関西支部では、43期生当番幹事を含めた実行委員会組織で総会準備を進め、総会当日は、佐賀の43期生・44期生の皆様にもご協力頂いて支部総会を開催しました。

総会1部では井手副会長に、在学中に修学旅行で関西を訪れた懐かしい思い出話と岩松会長の祝辞を頂きました。藤井校長からは、応援団OBとして応援歌と共にエールを頂き、小城町の数々の歴史を教えて頂いて、皆さん学生気分でも勉強させて頂きました。久本支部長からは中京支部の状況を教えて頂き、関西支部との共栄にエールを頂きました。

2部は、久本中京支部長の乾杯の音頭のあと、関西在住43期生当番幹事の北田さん、佃さんが司会を務め、佐賀古川副実行委員長他3名と来年度実行委員長の湖上さん他5名の皆さんにもバックアップをしてもらい、盛大に会を盛り上げてくれました。

43・44期生が在学中には母校で「男はつらいよ・ぼくの伯父さん」が撮影されました。その時のメイキングビデオを放映しましたが、今は無き校舎や親しい旧友・近所のおじさんおばさん、名所での渥美清さん・後藤久美子さん・榎ふみさんの佐賀弁などを楽しみ

ました。

カラオケショーは、元グリーンクラブの金子先輩が出席者全員を指導し皆で唱歌を合唱し深川先輩、新田支部長は、自慢の美声を聞かせてくれました。43期生古川・久保さんは懐かしい狩人兄弟の曲を熱唱し、最後に来年度実行委員長の湖上さんが、これぞ「プロ」と思わせる美声を聞かせてくれて貫録を見せてくれました。

また100円総取りジャンケンゲームは関西在住の43期生山田さんが勝ちましたが、全額を寄付してくれました。出席者の全員が、終始和やかに親睦を深める会となりました。

閉会后に43期生・44期生の皆さんが出席者の全員を「来年も元気で総会で顔を合わせましょう」と声をかけて見送りしてくれましたが、二次会にも約8割の方々が出席して頂いて、後輩たちを思いやる先輩たちの姿「伝統の黄城魂」を見せてくれました。

今後も支部の活動が会員の皆様並びに黄城会全支部との交流にも役立つように、広報紙の発行を継続していきたいと思っています。(関西支部事務局長 高校31回 古賀 和良)



関門・北九州支部

11月20日 リーガロイヤルホテル小倉 19名

今回も生徒さん達の校歌演奏・歌声(CD)で参加者を出迎えました。集合記念写真、橋間支部長挨拶、来賓ご挨拶、議事(事務局からの本年度支部運営報告、今後の支部運営について等)と滞りなく終えました。第2部での懇親会は橋間支部長(9回卒)の開会挨拶に続いて、大江様(2回卒)の乾杯の音頭で開宴しました。少人数ではありましたが毎年参加して頂いている方も多く、和気あいあいの中、楽しいひと時を過ごす事ができました。今回は①福岡支部 岡本様、長崎支部 大石様にもお越し頂いての支部交流、②神奈川より北九州に引越して来られた方の初ご参加③藤井校長様からの小城高校応援歌ご披露といった新たなトピックスもありました。一人一人の近況報告、商品ゲットチャンスを広げるための2回に分けたジャンケン大会に加え、大石様からの頭の体操クイズで大いに盛り上がりました。最後は全員大きな声で校歌を歌い、大石様のご発声により母校・関門北九州支部の益々の発展を期しての万歳三唱にて閉会しました。その後、5月3日の総会、来年度支部総会での再会を約束し合い、散会となりました。後日の長崎支部総会には橋間支部長が参加させて頂き、支部間交流もできました。本年度は都合によりご欠席された方のご参加に加え、より人数増に向け取り組んでいきたいと思ひます。

(関門・北九州支部事務局 高校29回 山口 孝美)



福岡支部

10月8日 天神スカイホール 116名

総会においては、岡本支部長の挨拶の後、来賓の本部事務局長外尾美好、顧問で小城高校校長の藤井様より祝辞を頂戴し、議事・支部近況が古賀幹事長より報告されました。

今年もこれに加え、高校6回卒伊東浩平様執筆による「黄城会福岡支部総会・同窓会の経緯」が壇上及び冊子紙面で紹介され、未来を彩る黄城のかけはしを今後に繋いでいく黄城会活動に会場全体が思いを一つにし、更なる強い絆が生まれました。

同窓会は、幸野向日葵さん司会による小城高校・小城市に纏わるふるさとクイズ大会、高校17回卒津村様によるフラダンスショーに会場全体が盛り上がり、諸先輩方の思い出話も一段と花が咲き、終盤の校歌合唱に会場は大きく盛り上がりました。参加者の多くが1年後の再会を約束し、会場を後にしました。

(高校43回 秋永 昌克)

長崎支部

1月29日 諫早観光ホテル八千代 30名

長崎支部の再発足後2回目の総会は、古川正人支部長の挨拶に始まり、本部から参加の岩松会長・藤井校長、計6名の平成28・29年度実行委員の皆さん、そして遠来の関門・北九州支部長の橋間啓人さん(9回生)にもそれぞれ挨拶などをいただきました。

特に藤井校長が自ら上着を脱いで、同窓生にはあまり知られていない小城高校応援歌を披露されたときは、一同拍手喝采でした。

地元からの参加は2回生から18回生までが18名と大勢を占め、最年長の音成一雄さんの乾杯の音頭で宴会が始まり、宴たけなわの頃に二胡・アコーディオンの演奏、民謡踊り、フラダンスを同窓生が披露し、また頭の体操や連想式福引きゲームなども続けました。

一同の記念写真撮影後、永尾薫さん(15回生)のハーモニカ演奏で校歌を元気に歌い、さらに江頭駿治さん(4回生)に閉会の音頭をお願いし、最後に今年度の黄城会総会実行委員長の湖上史貴さんに「フレーフレー小城高!」のエールを切ってもらい、3時間におよぶ支部総会はめでたく終了しました。

(長崎支部支部長 高校10回 大石 太)



佐賀支部

10月23日 マリトピア 180名

総会の部を43回生、懇親会の部を44回生が

担当し、スムーズな司会進行のもと大いに盛り上がりました。

当日は他の県内秋の文化行事と重なったところもあり、参加者数が危ぶまれましたが、昨年同様180名に及ぶ参加者を得ることができ、心から感謝申し上げます。

会は物故者への黙祷から始まり、支部長の歓迎の挨拶、来賓の方々の心温まる祝辞に続き、当番回期実行委員長の今年度総会の御礼、来年の総会開催に対する協力依頼の挨拶が、丁寧に終わりました。黄城会という県内屈指の同窓会組織が、脈々と受け継がれている様子が窺え、誇らしく思いました。

午後部の懇親会も、軽妙な司会者のトークで始まり、テーブルに並べられた料理を堪能しながら、ゆったりとした時間の流れの中で、和気あいあいと同期の仲間同志、或いは年代を超えて交流が行われ、これこそ黄城会の真骨頂だと思えました。

食事の箸が進むうちに多久ちんどん芸能隊の皆さまの登場となり、昔懐かし流行歌や、今の流行りの歌を演奏しながら、懇親会の雰囲気大いに盛り上げていただきました。

この後もじゃんけんゲームや、お楽しみ抽選会へと進むうち、楽しい時間が過ぎるのは早いもので、あっという間に3時間経ち、散会の時刻となってしまいました。

今静かに振り返ると、小城高の卒業生で良かった、この縁で卒業後もどれだけ助けられたか計り知れないと、感謝の気持ちで一杯です。今年もぜひお誘いあわせの上ご参加下さるようよろしくお願いいたします。

黄城会万歳!

(佐賀支部支部長 高校16回 江里口 勉)



多久支部

2月12日 北多久公民館 70名

総会では、吉浦支部長をはじめとする多久支部会員、本部の川副副会長、佐賀支部からのご来賓のご臨席を賜りました。

当番回期は本総会と同じく、43期で年度最後の支部総会ということもあり、多数の同期の協力、また、次回当番の44期からも多数の出席により盛大な会合となりました。ご出席いただきました皆様に感謝申し上げます。

市丸多久支部実行委員長のもと、第1部の総会行事を滞りなく進行し、第2部の懇親会の開始となりました。

懇親会では、限られた時間ではありましたが、回期を超えた交流と親睦を深めることができました。アトラクションでは地元多久の「多久ちんどん芸能隊」による、懐かしい曲の演奏や出し物で盛り上がりました。

(高校43回 徳永 健)



唐津支部

2月5日 虹の松原ホテル 40名

本日より外尾事務局長、母校より藤井校長先生、佐賀支部、福岡支部の役員の方に来賓としてお越しいただきました。

総会では、白石支部長の支部活動の報告と今回で第6号となる支部会報を配布しました。次に来賓の皆様からは、黄城会の本部や各支部の活動の紹介、最近の学校、生徒たちの近況をうかがいました。藤井校長先生のお話の中では先生が復活に尽力された懐かしの応援歌を先生自ら歌っていただきました。また、総会実行委員の方には昨年参加のお礼と、今年の総会の紹介と案内をしてもらいました。

懇親会では、唐津地区在住や勤務の参加者から近況を話していただき、アトラクションとして当支部の江口さんの指導によりお手玉を全員で行って、楽しい時間を過ごしました。

(唐津支部事務局長 高校28回 鮎川 正博)



県庁支部

10月7日 グランデはがくれ 74名

総会には、黄城会本部の岩松会長(10回)、母校小城高校の藤井校長(27回)ほか多くのご来賓の皆様にもご参加を賜りました。

県庁支部は、佐賀県の様々な部門に勤務する職員で構成しています。業務が極めて幅広い分野にわたり、職場も県内全域に広がるため、毎年の支部総会は、普段はなかなか顔を合わせて話をする機会が少ない黄城会の職員同士が懇親を深める良い機会となっています。

この年は4月に熊本地震が発生し、県内でも被害が発生する中、多くの県庁支部職員が被災地支援に当たりました。懇親会では、そのときの苦労話から懐かしい昔話まで、大いに盛り上がり、最後は全員で校歌を熱唱しました。

さて、平成30年は明治維新150年です。佐賀には幕末維新期に、近代日本の基礎を築いた偉人を多く輩出し、最先端の技術力を誇っていたという輝かしい歴史があります。佐賀県では、佐賀の偉業や偉人を顕彰し、偉業を成し遂げた先人の「志」を今に活かし、未来に繋いでいくため、「肥前さが幕末維新博覧会」を開催することとし、準備を進めているところです。

県庁支部の職員一同、これからも、佐賀県の一層の発展に貢献できるよう、しっかりと頑張っております。

また、黄城会の皆様には、県政の様々な場面でお世話になることがあると思いますが、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

(県庁支部支部長 高校31回 南里 隆)





高校19回
江口 武

昭和42年3月に小城高校を卒業し、今年記念同窓会を開催するに当たり、思い出を綴らせて頂きます。1年前から毎月1回打合せを行い、最初は同窓会までのスケジュールを立て、住所不明者、住所変更者、物故者等のチェックを綿密に行いました。高校入学時には600名近く在籍していましたが、50年経過すると判明者が473名、物故者が52名となりました。そのうちの判明者のみに記念同窓会の案内を郵送し、その内の280名程度より返事があり、記念同窓会への参加者が100名近くで、黄城会総会への参加が130名弱の参加でした。そのうち1名がアメリカより参加予定でしたが急に不参加となりましたが、国内では遠くは関東・中京・関西・福岡と地元より結集して5月2日に古湯の地“おんくり”にて盛大に開催いたしました。卒業して何十年振りかで再会する友も多く最初からお開きになるまでお互いに話は続き翌日の黄城会の饅頭会まで大いに賑わいました。早いもので黄城会の当番をした時には全国より180名近く集まりその後卒業25周年の同窓会を熱海にて開催してからというものは、京都、福岡、佐賀、鬼怒川、遷暦同窓会では嬉野の大正屋で実施し、その後は滋賀県で実施して3年前は福岡で行い常に120名前後は参加をしていたものですが、年々物故者も増えてまいりました。記念同窓会を開催する2日前にも癌で急逝した同窓生もいました。記念同窓会では物故者に対して黙祷を捧げ物故者も一緒に参加している気持ちで大いに盛り上がりました。又、今回幹事として頑張ってくれた仲間が祝吟や余興、お楽しみ抽選会等が繰り広げられて会場は一気に盛り上がり楽しいひと時を過ごすことができました。現在同窓生のほとんどが年金生活者となり、振り返れば、高校生活は文化祭の歌合戦では学園ソングや演歌等で青春を謳歌し、体育祭では2年生の時に現在の小城市内の県民体育祭で高校の体育祭は中止となり、3年生の時には長年続いてきた槽やスタンドは学校の方針で出来ないということで運動場に座り込みをして、スタンドだけの許可を貰い体育祭を実

施したものでした。3年の後半になると大学受験等での受験戦争を経験し、大学に入ったら入ったで安保闘争からの引き続きで学園紛争等に巻き込まれ大学を卒業すればオイルショック等があり、社会では企業戦士やモーレツ社員と言われてもはやされ、又、日本列島改造論や所得倍増論などと世間では騒がれるなか日本の高度成長期を支えてきたといっても過言ではないと思います。今は年金生活者が増えて我々が75歳になる頃には高齢者が最大となり、国の財政を年金が圧迫しているといっても過言ではないと思います。ましてや最近の少子化の時代へと推移している状況で定年の年代もだんだん引き上げられて65歳・70歳・75歳へと今後は引き上げられる状況であり毎年年金もカットされる時代になってきました。そんな中で総会当日は記念同窓会より直行する者、当日総会のみ参加する者総勢130名程度が一堂に会し、遠方より久しぶりに帰ってきた同窓生が小城高校の校内に到着するなり大楠が迎えてくれました。管理棟と体育館が我々の時代と変わらず普通教室棟等が昔の面影もなく様変わりしているのにはびっくりしていました。総会が始まる前に記念のリボンをみんなが胸に着けて総会に参加し、我々の仲間が旧制中学の校旗、高等女学校の校旗、新制高校の校旗を掲げてステージに登壇して総会が始まりました。初めに旧制中学の校歌、高等女学校の校歌、新制高校の校歌を総会参加者全員で斉唱して始まりましたが、みんながそれぞれの思い出で斉唱したのではと思います。会は進みよいよ我々19回卒業生全員がステージに登壇する時間となり緊張

は最高潮に達し、お祝い金、花束贈呈と進みお礼の言葉をいう時間となり、緊張しまくりメモ紙を読み上げる時は、早口言葉になってしまいました。お礼の言葉が終わった瞬間はホッとした安堵感がありこれで一通りの区切りが出来たのかと思うと一抹の寂しさを覚えてきました。

今までは総会に参加してもただ参加しているだけと感じていましたが、人から高校は何処ですかと聞かれると小城高校ですというのと知っている方たちからは小城高校の卒業生は結束が固く、総会も毎年素晴らしいもので他校を卒業された方たちからうらやましく思われていましたが、今回まではそんなに実感していませんでしたが、今回50周年の記念同窓会及び総会を改めて素晴らしいものであったと痛切に感じました。今後も黄城会の伝統を守り継続して頂きたいものです。私事で申し訳ありませんが小城高校に3年間を過ごしたことをうれしく思い、波乱万丈の人生でありましたが青春を謳歌できたことが最高の時であったことを胸に今後の人生を大切にしていきたいと思っています。最後になりましたが、今回記念同窓会及び黄城会の1年間お世話をしてくれた幹事さんたちに心より感謝申し上げます。本当に有難うございました。



充実した3年間

西村真由子（佐賀大学医学部看護学科）

この3年間は学業と部活動の両立に励み、たくさんのご経験をさせてもらった本当に充実した高校生活になりました。心身ともに大きく成長できたと実感しています。

部活動では、初心者として吹奏楽・合唱部に入学しました。ここでは言葉ではなく音楽によって日頃お世話になっている方々への感謝の気持ちを伝えることや、私たちの音楽を聴いてくださる方々の笑顔を見ることの喜びを知りました。また、3年生最後の吹奏楽コンクールでは、金賞をとることはできませんでしたが、合唱コンクールで金賞をいただき、九州大会へ行くことができました。部員みんなが気持ちを一つにし、目標を達成したあの喜びを忘れることはないと思います。このような部

活動を過ごす中で私は副部長とパートリーダーを務め、貴重な体験を通して、人間的にも大きく成長できたことを本当によかったと思います。

学業のほうでは、部活動の引退が9月になったため、受験勉強のスタートが周りの同級生たちよりも出遅れ、不安と焦りがありました。しかし、「受験は個人ではなく団体戦だ」というように友人たちとともに勉強モードに切り替え、互いに切磋琢磨しながら自分の志望する大学合格を目指し勉強に取り組みました。挫折しそうな時もありましたが、友人の存在や生徒一人ひとりに寄り添った先生方の熱いご指導のおかげで最後まで諦めず、自分の持っている力を精一杯発揮して受験に臨むことができたと思っています。

私は佐賀大学医学部看護学科に進学します。そして将来は患者さん一人ひとりの希望に応え、患者さんが前向きに生きていけるような環境づくりに貢献できる看護師になろうと考えています。私がこの目標を持てたのは小城高校のオンリーワン活動があったからです。母校である小城高校や生まれ育った佐賀県に看護師として恩返しができるようこれからも頑張りたいと考えています。



大きく成長できた3年間に感謝

杉野 陽輝（佐賀大学経済学部経済法学科）

私は、小城高校での3年間、学業、部活動の両方で充実した毎日を過ごすことができました。多くの先生方や仲間たちに支えられ、今までの人生の中で最も成長できた3年間だったと思います。

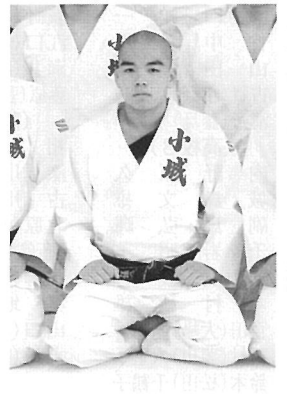
部活動では柔道部に所属していました。「県高校総体で優勝」という目標を達成するために限られた時間の中、質の高い練習をしてきました。先生方の厳しいご指導のおかげで技術面だけでなく精神面も鍛えられ、礼儀も身についたと思います。また柔道部で毎朝奉仕活動にも取り組み、誰かのために頑張ることの大切さを学びました。奉仕活動を3年間

続けたおかげで本当に心が成長し、人生観も大きく変わったと思います。

学業面では、目標に向かって妥協せず勉強することができたと思います。毎日プレッシャーとの戦いで苦しかったですが、先生方の支えやともに頑張っている仲間たちの姿から刺激を受け、最後まで全力でやることができました。合格した時に本当に多くの先生方や仲間たちから声をかけてもらったことは最高の思い出になりました。

この3年間、本当にたくさんのご経験をしました。楽しい時も苦しい時も常にそばにいてくれた家族、先生方、仲間たちには本当に感謝してい

ます。春からは佐賀大学経済学部経済法学科に進学します。今まで支えてくださった方々に恩返しができるように毎日全力で頑張っていきたいと思っています。伝統ある小城高校で学ぶことができて本当によかったです。ありがとうございました。



平成28年度会員寄付金の卒業回期別寄付者一覧 (敬称略)

会員の皆さまには、日ごろから黄城会の円滑な運営に対しご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当会は「会員相互の親睦を図り、同時に小城高等学校の発展に寄与すること」を目的にした事業を行っていますが、建築後29年目の黄城教育会館の維持管理及び将来の改修(照明、内装、空調設備、電気工作物ほか)費用並びに育英奨学金資金の確保のためにご寄付をお願いしましたところ、360人の会員の皆さまから総額2,858,206円のご寄付をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。

ご協力いただいた寄付金については、お願いした主旨の通り有

効に活用させていただきます。ここに感謝の意を込めてご尊名を掲載させていただきました。また、この会員寄付金は、今後も継続して計画させていただきますので、なにとぞご協力賜りますようお願いいたします。

平成28年4月に発生した熊本地震で被害があった地域にお住まいの方には、心からのお見舞いを申し上げるとともに一日も早い復興を祈念申し上げ「会費」及び「会員寄付金」のお願いを控えさせていただきます。

小城高等学校同窓会 黄城会会長

(旧中40)	(高校4)	(高校8)	(高校11)	(高校14)	(高校19)	(高校26)
野副繁	江里口勲	安藤清隆	倉富久仁彦	秋永征二	貝原正洋	川副春海
(旧中42)	岡正章	池田義實	土橋真道	陣内美紀	神前幸敏	西山大作
川副武男	古賀渡	稲童丸清人	西田潤平	平内美哲	川副陽介	(高校27)
早田芳孝	田中健吾	大野雅央	野口武男	堤哲哉	中山伸	是松(西)紀洋
(旧中43)	久保(相川)洋子	副島健次郎	前山賢	徳勝秀俊	百武(水田)好光	鈴木(陣内)統紫子
大曲淳	西(川俣)智子	瀧川晴雄	真子輝雄	橋崎進美	藤井徳浩	永田(林田)由美
[故]川津(川口)清都	西山(許斐)清子	瀧川富功	溝口一信	野中洋孝	水田政光	(高校28)
木原英俊	阿南(坂本)貞代	中元寺松男	溝江正哉	深町宗孝	長瀬(愛川)港	秋野和之
木山重行	服部(徳永)登代子	永池隼人	末田(下村)順子	森永五郎	内野裕子	岡本秀実
(旧中44)	江頭(中島)雪枝	中原(袋)鎮	丸谷(田中丸)房子	米満清明	江頭(笠原)喜代子	白石(上田)千秋
岸川博隆	濱田(野中)琉美子	七島義人	稲益(野方)一子	大塚(石丸)博子	小森みな子	(高校29)
(旧中45)	前山(増田)千鶴子	西山尚弘	牧(平山)照子	村木(今泉)佑子	川久保悟	雪竹稔
佐保肇	(高校5)	原口克弘	池田(松瀬)昌子	岩崎淳子	川原田徳治	井手(音成)真喜子
武田(西村)勝巳	池田庫久	真子雅允	井本(森永)ツネ子	江口(岩松)善子	木崎善行	桂(南里)知美子
藤田光彦	伊東研二	井手愛子	万谷(山田)千里	福山(木元)てる美	岸川宗一郎	(高校30)
(旧中46)	坂村秀幸	吉村(大山)米子	(高校12)	(高校15)	南里種司	松尾優治
池田裕實	高木修	西澤(岩部)圭子	池田敏憲	七田義孝	野田豊秋	吉谷弘
(高女22)	堤好則	山田(上野)幸子	井手良祐	豊田俊治	外尾美志	谷口(野口)文子
藤川(上瀧)レイ	中園照彦	山田(江副)紀子	江口尚久	長崎兼浩	真子英行	(高校32)
(高女23)	井元翠子	大野(於保)富子	大島文雄	野村直秋	本村光節	大坪敏郎
堤ミヨ子	瀬沼(大石)信子	北島五十鈴	小島吉晴	真子義秋	伊豆(弥木)悦子	岸川紀浩
塩川(吉田)ひさ子	岸川郁子	渡辺(中島)由美子	武富義夫	持永(真子)正彦	寺崎(北川)操	(高校33)
(高女24)	真子(古賀)節子	桃山(中山)キヨ子	田中將之	久保(荒木)富子	塚原康子	江口尊
江里口(北川)露子	小園(古賀)万希子	鶴橋(平山)みゆき	成田武敏	中島(北村)要子	原田(野口)京子	(高校34)
(高女27)	岸川(島内)芳子	坂本(福山)啓子	野村方昭	陣内(久我)宏子	江頭(兵動)さよ子	宮崎紀久
川原田(森江)信子	力久(陣内)二三枝	沢田(古川)道代	山崎浩直	上野(高山)里代	[故]辻(真島)和江	(高校35)
(本定1)	岩部(千葉)恭子	高塚(真子)竹子	山田純三	橋本澄子	(高校16)	桜木直弘
諸富(太田)稻城	石井(馬場)津智子	(高校9)	麻田(池上)満代	宮原(吉富)史枝	高木靖哉	(高校36)
(本定2)	円城寺(広川)長子	今泉茂太	古賀(伊高)迪子	高木靖誠	冬野誠	本村猛
中尾和弘	堤(三好)澤子	金丸太忠	佐久間(岩松)千代子	永淵(大庭)静子	大島敏幸	水野(木下)紅美
(本定5)	川口(山田)綾羽	上坂義重	徳村(梅崎)マス子	大塚(瀬戸口)タミ子	北島和久	(高校37)
瓦田信彦	(高校6)	山崎禎昭	武富(大坪)照代	(高校17)	高園勝男	大場(林田)知子
(本定6)	天ヶ瀬慶彦	曾我部(鮎川)生子	西岡(北島)信子	池田好正	田中政敏	(高校38)
成相(藤川)京子	江口英明	小林(副島)恭子	秀島(土居)多悦子	石井和隆	本村豊	富増(中島)瑞恵
(本定8)	古賀弘毅	石田(副島)幸子	中島美和子	江頭學	阿部(天ヶ瀬)真紀子	(高校40)
永田(倉永)貞子	佐久間穰	小園(古館)カヲル	大賀(御厨)須佳子	小川多久	中村(稲田)早苗	中野司
(牛定5)	柴原正道	中島(山口)敦子	井本(水田)恵子	野田新	江頭朋彦	荒川好子
若林(水田)隆子	徳永誠行	(高校10)	江口(光石)洋子	原田元彦	緒方和義	小山(梅野)敦子
(高校1)	平山哲也	稲富松	合六(村岡)慶子	吉田紘二郎	金田昌博	中村(福島)直美
唐島茂忠	的野三千夫	大石謙次	平野(村口)多喜子	中島(岩松)栄子	西村(永野)龍弘	藤田理江
吉田英介	南川政俊	木下謙次	松本(米満)和子	鶴田(江里口)幸子	藤村(小森)克英	飯盛宏徳
(高校2)	[故]横田宏	七志波	廣川(渡島)美智子	中島(岩松)栄子	斉藤(鬼頭)治江	山崎(黒岩)史子
有浦次海	吉村久夫	田利秀彦	(高校13)	吉田(岩松)栄子	古藤(楠田)容子	(高校43)
貞松正彦	木原(北島)智子	波保明彦	鮎川正興	中島(岩松)栄子	八田(高木)淳子	濱村宜弘
於保好彦	稲葉(北原)初子	竹田雅彦	池田東一	鶴田(江里口)幸子	飯盛(鳥井)悦子	松本智弘
貞松正彦	萩野(小林)惇子	竹田雅彦	鍵山征司	藤田(堤)昭子	匿名豊中市	(高校44)
瀬戸口洋一	江口(坂口)昭代	出口浩	小路英毅	深川(中島)紀美子	田中(木元)玲子	[故]門矢(柴田)愛
竹中洋雄	瀬井(手柴)房子	野村克	坂口捷哉	貝原(橋間)美佐子	田中(原)去子	(高校46)
山田浅雄	藤原(長崎)とし子	藤谷修三	田中正邦	丸浜とみ子	泊(西)幸子	貝原淳平
古賀(小野)八七枝	(高校7)	松本正隆	田中丸勝美	福田(宮島)正子	永淵(原)幸子	(高校66)
清永(藤島)多榮子	相川昌道	真子公敏	鶴本勝美	井手(村山)浩子	佐々木(三島)忍	濱村武志
(高校3)	深川光雪	牟田口博	中尾久司	(高校18)	(高校24)	(高校67)
内野正久	古川俊夫	吉岡悟	樋口秀利	飯盛健二郎	野方嘉孝	濱村風沙
城島文雄	北原(秋田)豊子	川野(亀川)美美子	藤本義行	大坪正明	西村(田中)由紀子	
副島弘暉	源五郎丸(伊東)セツコ	山田(田中)寿美子	桃崎勝斌	堤(副田)益司	亀山(橋口)陽子	
千々岩昭美	小柳(田中)延子	相森(西岡)幸美	陣内(田代)俊子	水田健二	横尾(真子)佳代	
辻義雄	築地法子	山田嘉子	古川(永野)悠紀	村山龍彦	(高校25)	
本村秋雄	山口(鳥越)道恵		井手(野田)武子	田中(諏訪)洋子	三根英樹	
百田(大場)ユキエ	上村(羽島)満子		河野(真崎)宣子	水田(平川)瑞子	奥山(深川)悦子	
西村(藤川)八重子						
鈴木(松田)千鶴子						

トピック7



第14回ゴルフコンペ開催！

優勝 野口 和彦さん (高校42回卒)

(敬称略)

順位	卒業回期	氏名
優勝	42回	野口 和彦
準優勝	36回	宮副 智弘
3位	33回	池田 俊一
4位	24回	池田 尚文
5位	18回	西 豊
6位	37回	池田 龍史
7位	34回	中島 光宏
8位	40回	永溪 直久
9位	32回	山本 康徳
10位	44回	相川 賢士

毎年恒例の第14回黄城会ゴルフコンペ（佐賀支部主催）が平成29年5月21日（日）大和不動カントリー倶楽部において開催されました。当日は天候にも恵まれ、総勢52名の参加を得て盛会裡に終了することができました。

また、参加者からのチャリティー募金41,000円を黄城会へ贈らせていただきました。開催にあたって準備等にご尽力いただいた当番回期や世話人の皆様、また協賛賞品をご提供いただいた皆様には心より感謝申し上げます。

なお、上位入賞者は右の表のとおりとなっています。

【参加者募集】

このゴルフコンペは、佐賀支部主催で毎年5月の第3日曜日に開催しており、広く黄城会会員の皆様の参加をお待ちしております。参加ご希望の方は下記までご連絡ください。

【連絡先】 佐賀支部事務局長 岸川宗一郎

TEL・FAX 0952-72-7091 携帯090-9729-2412

お知らせ

平成29年度支部総会予定日

*平成29年度の支部総会開催日をお知らせいたしますのでご参加ください。（時間、会場等は各支部へお尋ねください）

支部名	予定日	氏名	電話	支部名	予定日	氏名	電話
関東	H29 8/27(日)	支部長 檜崎 進	03-5397-7877	関西	H29 11/4(土)	事務局長 古賀 和良	072-224-4680
中京	H29 9/23(土祝)	事務局長 堤 淳	056-152-9252	関門北九州	H29 11/12(日)	事務局 山口 孝美	093-475-6487
県庁	H29 10/6(金)	幹事長 鍵山 勝一	0952-25-7119 (県庁園芸課)	長崎	H30 1/28(日)	事務局長 大石 太	090-6774-1144
福岡	H29 10/14(土)	幹事長 古賀 省吾	093-691-0755	唐津	H30 2/4(日)	事務局長 鮎川 正博	090-4997-1372
佐賀	H29 10/15(日)	事務局長 岸川宗一郎	0952-72-7091	多久	H30 2/11(日)	事務局長 古賀 通雄	0952-75-3629

黄城会総会を終えて

2017年度黄城会総会実行委員会

実行委員長 瀧上 史貴 (高校44回)



ここ2年ほど雨に祟られていた5月3日の黄城会総会、なによりの心配は天気でした。「今年は晴れてくれ…」しかしその心配を吹き飛ばすかのような、素晴らしい好天に恵まれたところで7割以上は大成功！と、根拠のない自信と感謝の気持ちに満ち溢れた朝を迎えました。

その日は早朝から本当にたくさんの諸先輩方にお集まり頂き、我々44期も胸の高鳴る想いで総会に臨みました。各議案滞りなくご審議頂き、黄城の集い、アトラクションまで長時間お付き合頂きました。その後45期の担当する饅頭会にもお邪魔したところ、こちらも大盛況。「楽しかったよ！」「よう頑張ったねえ！」たくさんのお声を頂戴しました。

その後、我々44期の同窓会も開催したのですが、100人近くの同級生が集まってくれました。こちらも大盛況で、来年も集まろう！もっと参加者を増やそう！という声が上がりました。

「黄城Fes!!～輝く118年の軌跡 そして未来へ～」と題して、とにかく黄城会をもっともっと楽しんでもらうべく開催した今回。諸先輩方が繋いでこられた伝統を我々44期が引き継ぎ、来年は45期の後輩の皆さんの手で開催されます。なにか説明出来ない不思議なパワーを感じずにはいられません。この感覚は、やり終えてみないとわかりません。そして様々なご意見がある中でも、この会を未来へ繋いでいく意味、黄城会な

らではの魅力…というものは、参加してみないとわからない…という事がひしひしと身に沁みました。

まだ参加されていない卒業生のあなた、来年こそは、小城高校体育館に足を運んでみませんか？当番回期は関係ありません。卒業したての回期の皆さんも是非お越し下さい。

本当にたくさんの皆様にご参集頂きました。誠にありがとうございました。また来年、お会いしましょう！！



饅頭会を終えて

2018年度黄城会総会実行委員会

実行委員長 徳重 隆仁 (高校45回)



2017年5月3日、黄城会総会が開催されました。当日は晴天にも恵まれ、県内外から多くの先輩方がお見えになり、改めて黄城会という絆の強さに驚きました。懐かしい友人たちとの再会に溢れる先輩方の笑顔を見ていると、改めてこの伝統ある総会に、関わらせて頂いた事に充実感と誇りを感じました。

半年ほど前から同期たちと連絡を取り始め、饅頭会の準備をして参りました。最初は友人たちの集まりや参加も少なく、私自身あまり積極的に関わりたいくないというのが正直な所でした。しかしそんな時思い出したのが、亡き父の友人で、私も尊敬している人形作家の倉富博美さんの佐賀新聞への寄稿文でした。倉富さんは「成人式に出席しても時間の

無駄だ」という青年に対して「高校卒業から2年間、それぞれの道は違えど友人たちがその2年間をどう過ごし、どう変わり、どう成長しているのか、その姿を見るのも悪くないよ」とアドバイスされたそうです。我々45期生が小城高校を卒業して来年で25年。2年間とは比べ物にならない程の人生経験を積んだ友人たちに会うのも悪くない、そんな気持ちになりました。そして実際集まってくれた同窓生達は本当に頼もしく、饅頭会のそれぞれの役割の中で活躍してくれました。社会の第一線で活躍している友、温かい家族に恵まれ幸せそうな友、立場は違えどそれぞれの人生をしっかりと歩んでいる旧友たちを見られただけでも、有意義な経験だったと思います。

今回お世話させて頂いた饅頭会では、何かと不行き届きな点もあったとは思いますが、未熟な我々を温かく見守ってくださった大先輩方、また親身になって引継ぎをくださった44期の先輩方には本当に感謝しております。まだまだ未熟な私達45期生ですが、来年5月3日までの1年間、総会に出席される皆様に心から楽しんで頂けるよう精一杯努力していきたいと思っておりますので、どうぞ今年一年よろしくお願ひいたします。



平成29年度黄城会役員一覧

▷会長＝岩松要輔（高10）▷副会長＝七田義孝（高15）川副春海（高26）井手真喜子（高29）▷理事＝内野正久（高3）永池安彦（高4）川副富男（高5）飯盛宏猷（高6）佐々木昇三（高7）大野雅央（高8）真子輝雄（高11）小柳平一郎（高12）中尾久司（高13）森永四郎（高14）梅崎茂弘（高16）松尾

剛之（高17）野田和良（高18）江口武（高19）野田豊秋（高20）高園勝男（高21）坂井一弥（高22）中野良紀（高23）古賀正人（高24）圓城寺猛（高25）横尾俊彦（高27）井手美保子（高28）岡正幸（高30）安永正（高31）伊東猛彦（高32）水田信（高33）真崎俊夫（高34）松尾直人（高35）西岡聖師（高36）梶

原聖司（高37）北島清孝（高38）北村武士（高39）高塚誠（高40）飯盛宏徳（高41）野田一彦（高42）西田亮（高43）▷監事＝梶原千尋（高5）金丸盛登（高9）福田智恵子（高26）▷事務局長＝外尾美好（高20）▷庶務＝山崎史子（高41）▷会計＝田代智子

支部役員一覧

[関東支部]▷支部長＝楯崎進（高14）▷副支部長＝本村清人（高17）▷会計監事＝江里口宗男（高7）林三郎（高12）▷幹事長＝岸川昌子（高15）▷副幹事長＝村上徹（高19）▷事務局長兼常任幹事＝川副隆之（高32）▷顧問＝吉村久夫（高6）山崎禎昭（高9）石田幸子（高9）

[中京支部]▷支部長＝久本哲義（高11）▷副支部長＝庭木利秀（高7）川島公子（高11）梅谷雅和（高17）▷庶務＝江里口多美雄（高21）▷事務局長＝堤淳（高40）

[関西支部]▷支部長＝新田安典（高22）▷副支部長＝内橋昇（高25）岡本正史（高27）▷事務局長＝古賀和良（高

31）▷事務局次長兼会計＝森山栄子（高31）▷会計監査＝内田敏博（高20）▷顧問＝米田数英（高10）梶原邦夫（高12）

[福岡支部]▷支部長＝岡本壽夫（高10）▷副支部長＝山口順蔵（高18）堺八千代（高25）▷幹事長＝古賀省吾（高26）▷副幹事長＝小林佐登子（高33）▷監査＝南川武夫（高10）▷顧問＝吉田英介（高1）小川勇紀子（高4）小柳平八郎（高5）伊東浩平（高6）武富一三（高8）

[関門・北九州支部]▷支部長＝橋間啓人（高9）▷事務局＝山口孝美（高29）▷顧問＝永山重隆（高13）

[長崎支部]▷支部長＝古川正人（高8）

▷事務局長＝大石太（高10）

[佐賀支部]▷支部長＝江里口勉（高16）▷副支部長＝梶原千尋（高5）金丸盛登（高9）宮原史枝（高15）▷事務局長＝岸川宗一郎（高20）▷顧問＝山田浅雄（高2）

[唐津支部]▷支部長＝白石元秀（高7）▷副支部長＝永淵明則（高16）▷事務局長＝鮎川正博（高28）

[多久支部]▷支部長＝吉浦啓一郎（高15）▷副支部長＝尾形節子（高4）牛島和廣（高17）飯守康洋（高24）▷幹事長＝内野正久（高3）▷事務局長＝古賀通雄（高23）

[県庁支部]▷支部長＝南里隆（高31）▷幹事長＝鍵山勝一（高33）

平成28年4月～平成29年3月までの物故者（敬称略）

（回期）氏名〔住所〕

（旧中）(35) 江原 八郎〔小城市〕(35) 曲淵 喜久雄〔唐津市〕(37) 佐藤 曄〔小城市〕(38) 詫摩 藤男〔佐賀市〕(40) 大島 義人〔小城市〕(41) 錢亀 政明〔名古屋市〕(41) 松永 初夫〔佐賀市〕(41) 森 龍三郎〔多久市〕(42) 大野 静男〔小城市〕(42) 栗山 重司〔佐賀市〕(42) 田崎 近〔小城市〕(43) 中野 大典〔名古屋市〕(44) 宮崎 政幸〔佐賀市〕(45) 手塚 辰己〔小城市〕(45) 山田 善彦〔小城市〕(46) 西村 仁一〔小城市〕(46) 増田 光〔小城市〕(47) 前山 鹿夫〔佐世保市〕

（高女）(10) 江島 ハツヨ〔伊万里市〕(15) 中山 シナ〔小城市〕(16) 池田 登美子〔小城市〕(16) 山下 教子〔杵島郡〕(17) 武富 スミ子〔佐賀市〕(17) 永松 ツヤ子〔多久市〕(18) 泉 スエ〔佐賀市〕(18) 坂田 道子〔小城市〕(19) 大坪 丹子〔小城市〕(19) 諸泉 志津枝〔小城市〕(21) 木下 フミ子〔横浜市〕(21) 平川 和子〔小城市〕(21) 宮地 梢子〔佐賀市〕(23) 川原田 英子〔小城市〕(25) 野方 佐和子〔多久市〕(27) 上瀧 綾子〔小城市〕(27) 中牟田 貞

子〔小城市〕(27) 浜本 トシ〔平戸市〕（高校）(2) 大島 治助〔東京都〕(2) 光岡 正信〔板橋区〕(2) 中村 ヒロ〔横浜市〕(3) 羽島 成夫〔小城市〕(3) 古川 豊〔長崎市〕(3) 蒲原 マサヨ〔佐賀市〕(3) 坂井 篤子〔佐賀市〕(3) 前田 映子〔佐賀市〕(3) 百崎 イヨ子〔佐賀市〕(4) 岸川 正夫〔小城市〕(4) 北島 清亨〔小城市〕(4) 齊藤 慧〔小城市〕(4) 轟木 賢〔小城市〕(4) 富永 義人〔小城市〕(4) 久保 佐和子〔多久市〕(4) 永江 八千代〔諫早市〕(4) 久上 福代〔多久市〕(5) 一宮 貞夫〔越谷市〕(5) 宮島 光宏〔東京都〕(5) 江副 千恵子〔佐賀市〕(5) 今泉 幸雄〔市原市〕(5) 川崎 兵馬〔遠賀郡〕(5) 藤崎 桂子〔多久市〕(6) 山口 寛治〔横浜市〕(6) 横田 宏〔小城市〕(7) 松崎 修二〔小城市〕(7) 中岡 紀子〔鹿島市〕(8) 小倉 正信〔加茂郡〕(8) 納富 俊二〔佐世保市〕(8) 大石 寿子〔笠間市〕(9) 浦島 清子〔諫早市〕(9) 相川 静子〔小城市〕(10) 川崎 信行〔多久市〕(10) 徳永 進〔港区〕(10) 中西 正夫〔船橋市〕(10) 西村 俊治〔小城市〕(10) 山本 徹〔小

城市〕(10) 江頭 美枝子〔佐世保市〕(12) 森永 多恵子〔小城市〕(13) 藤島 一 道〔小城市〕(14) 野田 浩二〔多久市〕(14) 野中 武司〔佐賀市〕(14) 高木 田鶴子〔多久市〕(15) 安藤 国弘〔寝屋川市〕(15) 安藤 眞行〔佐賀市〕(15) 金子 公子〔町田市〕(15) 北村 久子〔佐賀市〕(15) 古川 直子〔佐賀市〕(16) 岸川 弘文〔小城市〕(17) 黒木 邦博〔多久市〕(17) 國信 和子〔八王子市〕(19) 加々良 治也〔不明〕(20) 児玉 玲子〔三鷹市〕(20) 辻 和江〔東大阪市〕(21) 木下 義広〔小城市〕(22) 宮崎 道広〔武雄市〕(23) 菅 良二〔佐賀市〕(24) 生島 知洋〔佐賀市〕(27) 野田 剛〔さいたま市〕(29) 原 英俊〔小城市〕(29) 馬場 沢美〔鹿島市〕(32) 江副 義昭〔多久市〕(33) 古河 洋子〔小城市〕(34) 津田 洋子〔雲仙市〕(44) 門矢 愛〔多久市〕(51) 石橋 憲一郎〔小城市〕(54) 森岡毅史〔多久市〕

（定時）(本定5) 石津 晃〔広島市〕(本定7) 瀬戸口 洋平〔多久市〕

一般寄付金

（平成28年4月～平成29年3月）

佐賀支部主催第13回ゴルフコンペ 24,000円／永江正国様（故 永江八千代様（高校4回）のご主人様より）100,000円
 高校18回一同様（卒業50周年）20,000円
 高校40回一同様 2,500円

「会費」及び「会員寄付金」納入のお願い

黄城会の会費納入及び会員寄付金について、下記によりご協力賜りますようご案内申し上げます。
 会費につきましては、1年会費(2,000円)の取り扱いのみではありますが、皆さまの払い込みの利便を図るため、『ゆうちょ銀行(郵便局)』に加え、『全国のコンビニエンスストア』からも払い込みいただけるようにいたしましたので、お一人でも多くの皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

会費納入につきましては、機会あるごとをお願いしておりますが、なかなか納付が伸長せず黄城会の運営が危惧される状況になっておりますので、平成27年度から会費とは別枠で会員寄付金をお願いして黄城会の事業を行うための経費に充てさせていただくことにしております。なにとぞご理解のうえ、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

黄城会の目的である『会員相互の親睦を図り、同時に小城高等学校の発展に寄与する』ための円滑な運営ができますよう、会費納入及び会員寄付金について会員の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

なお、行き違いで、すでに今年度の会費及び会員寄付金を納入していただいた方に、納入の案内が届きましたらご寛恕ください。

記

会費のご案内	会員寄付金のご案内
※終身会費納入者、5年会費納入者の5年未経過者、今年度会費納入者及び熊本地震の被災地域にお住まいの方を除く。	※今年度寄付金の納入者及び熊本地震の被災地域にお住まいの方を除く。
①会費の区分 1年会費 2千円 5年会費 1万円 終身会費 5万円	①寄付の金額は任意でお願いしておりますので、ご寄付いただく金額をご記入のうえ、『ゆうちょ銀行(郵便局)』から振り込みをお願いします。
②会費の振込金融機関 1年会費(2千円)は、最寄りの『ゆうちょ銀行(郵便局)又はコンビニ』から振り込みをお願いします。 5年会費(1万円)又は終身会費(5万円)を振り込んでいただけるときは、振込金額を訂正していただいたうえで『ゆうちょ銀行(郵便局)』から振り込みをお願いします。 ※振込手数料は黄城会で負担しますので、会費のみを払い込んでください。 ※近隣にお住まいの方は、黄城会事務局に直接持参いただければ、経費の節約ができます。 ※『自動払い込み(口座振替)』にご協力いただける方には、手続きの書類を送らせていただきますのでご連絡ください。	②ご寄付いただいた方については、その都度お礼状をお届けするとともに、当該年度分の寄付者名を翌年発行する会報誌上に掲載させていただき、お礼を申し上げます。 ※振込手数料は黄城会が負担しますので、会員寄付金のみを払い込んでください。 ※近隣にお住まいの方は、黄城会事務局に直接持参いただければ、経費の節約ができます。

「会費」及び「会員寄付金」の納入状況

【会費】

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
人数	1,256人	1,247人	1,296人	1,407人
金額	4,202,000円	4,500,000円	3,580,000円	3,820,000円

【会員寄付金】

	平成27年度	平成28年度
人数	364人	360人
金額	2,879,000円	2,858,206円

『回期だより』回期だよりを作成された卒業回期の方に同封しています。ご高覧ください。

住所変更等の連絡のお願い

現住所を変更(改姓を含む)されたときは、黄城会事務局までご連絡をお願いします。その際には、卒業回期、旧姓もお知らせください。

『ゆうちょ銀行(郵便局)』から会費を振り込まれる方は、払込取扱票の通信欄をご利用ください。会員寄付金を振り込まれる方(ゆうちょ銀行(郵便局)に限ります)も同様をお願いします。

編集後記



5月よりお世話になってます。
 初めての黄城会総会は、歴史の深さと同窓生の絆の深さをすばらしく感じました。

今年度、小城高校に入学した娘と一緒に私も一年生として頑張りたいと思います。

少しでも早く慣れるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。
 (田代)